

インナー大会プレゼン部門 2018 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) コマザワダイガク	フリガナ) グローバル・メディア・スタディーズガクブ	フリガナ) カガミゼミナール
駒澤大学	グローバル・メディア・スタディーズ学部	各務洋子ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) グローバル	フリガナ) ヤマムラユウリ	6	無	
グローバル	山村優利			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

研究テーマ (発表タイトル)

Cigarette ✖ Society 投票型灰皿プロジェクト

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

本研究では、タバコの投棄の減少を目的とする。

近年、タバコの投棄が原因で生じる環境汚染や火の不始末による火災等、様々な問題が日々取り沙汰されている。このような現状があるにも関わらず、依然としてタバコの投棄は解消されていない。そこで私たちは、タバコの吸殻を有効利用するための仕組みを導入し、街中におけるタバコ投棄の減少に取り組むたいと考えた。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

東京都では 2020 年に開催される東京オリンピックに向けて、受動喫煙に対する規制の取り組みの強化を推し進めている。それは世界保健機関による調査で日本の受動喫煙対策が「世界最低レベル」に分類されたことに起因する。これに対し多くの自治体では、路上喫煙防止条例や 23 区のポイ捨て禁止条例等、受動喫煙防止に対する様々な施策が取られている。中でも渋谷区では、「歩行喫煙禁止」の路面表示や看板等の設置、美化活動の強化にも積極的に乗り出していて、喫煙場所の指定を目的とした『渋谷区分煙ルール』も制定されている。しかし、喫煙所数の縮小化や歩行喫煙の取締など喫煙場所を限定する方策が主であるため、却ってタバコの投棄が深刻化していると推測される。

現状分析のために私たちが渋谷区で行った現地調査では、センター街ほぼ全域でのタバコ投棄が確認され、とりわけ喫煙所の外側でのタバコ投棄が非常に多いことが明らかとなった。また、休日の深夜から早朝にかけてのタバコ投棄が増加することも調査によって判明した。

このように、様々な条例や取り組みがあるにも関わらず、タバコの投棄が後を絶たない現状を私たちの問題意識として取り上げた。

3. 研究テーマの課題

本研究テーマの課題は「喫煙者のタバコ投棄に対する問題意識が低いこと」である。まず、私達は国民のタバコ投棄に対する考え方を調査するため、日本人（228人）、外国人（208人）のべ436人に対してアンケート調査による独自の定量分析を行った（2018年8月2日~2018年8月31日）。アンケート調査の結果、「タバコの投棄があるのは不快に感じるか」という質問に対し77%の人が”はい”と回答した。このことから、日本人の多くがタバコの投棄に対する現状を改善したいと考えていることが分かる。

また、喫煙者（84人）を対象とした「あなたは普段タバコのポイ捨てをしますか？」という項目に対し、日本人の50%、外国人32%が”はい”と回答した。タバコを投棄する理由（複数選択可）として「捨てる場所がないから」が28票、「ポイ捨てが習慣となっているから」が11票、「他の人がやっているから」が10票、「自分一人がやっても変わらないと思うから」が8票、「ポイ捨てしてもバレないと思うから」が1票、「車の中で吸っているから」が1票という結果が出た。更に「タバコを投棄することに罪悪感がありますか？」という質問に対し日本人64%、外国人は55%の人が”はい”と回答した。以上の回答を踏まえると、タバコの投棄を”してはいけないことである”と理解してはいるものの、実際にはタバコを投棄してしまう人が多いということが分かる。

上記のアンケート結果から喫煙者・禁煙者、共にタバコの投棄に対して、問題意識を抱えていることは明確である。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

以上の課題解決の施策として、タバコの吸殻を社会貢献に役立つものとして有効利用することで、タバコの投棄を減少させるシステムを提案する。

【概要】

投票型灰皿を喫煙所に設置し、その結果を SNS 等でも発信することで、喫煙者だけでなくより多くの人々が民意を閲覧できるようにする。

【方法】

1. イギリスの環境保全団体 Hubbub Foundation によって開発された「Ballot Bin」を喫煙所に一定期間設置する。
2. 投票箱からタバコの吸殻を回収し、投票結果の集計を行う。
3. 独自の SNS アカウントを用いて投票結果の開示、拡散を行う。

以上のようにタバコの吸殻が民意の可視化に有効利用されるため、タバコ投棄の減少に繋がると考える。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

まず、サービスを行う上での根幹となる「Ballot Bin」についての調査を行なった。このプロダクトはイギリスの環境保全団体 Hubbub Foundation によって、タバコ投棄の減少を目的に開発されたものであり、一つあたり約 32,000 円で販売されている。各投票箱には質問と二つの回答を表示、喫煙者は好みの選択肢に対応したスロットに、吸殻を入れることで投票することができる。吸殻の量は、透明ガラスによって外からでも確認が可能であり、どちらの答えがより人気であるかが容易にわかる仕組みになっている。吸殻の回収や質問の変更の際には、鍵を開けることによって所有者にのみ管理できるようになっている。

この「Ballot Bin」が実際に設置されたことで、ロンドンでは投棄された吸殻を 46%削減させることに成功している。またイギリスのエンバンクメント駅では、吸殻の数が 8%、投棄の観測が 18%減少したという結果も得られている。

しかし、このサービスによって出た回答が Hubbub Foundation によって開示されることはなく、設置された喫煙所でしか見ることができない。したがって私たちは、このプロダクトによって得た情報を、SNS 等を用いることによって、より多くの人に結果を公表し、施設などへの情報提供も積極的に行うことで社会に貢献していきたい。

さらに野外喫煙所でのタバコの投棄が見られる駒澤大学での設置を想定して、駒澤大学生を対象としたアンケート調査を実施した。まず、我々の持つ問題意識・サービス内容に関するプレゼンテーションに加え、Hubbub Foundation による「Ballot Bin」の概要説明を行い、その後アンケート用紙を配布した。

その結果「たばこのポイ捨てをなくすためには、投票箱を導入するべきだと思いますか？」という項目に対して 80%が”はい”と回答した。また、このサービスを駒澤大学に導入する際には、一人当たり約 2,300 円の金銭的な支援を行いたいというアンケート結果が出た。したがって「Ballot Bin」の駒澤大学への導入を希望する学生の割合は半数以上であり、駒澤大学での本サービスへの需要も高く、また、導入のための資金調達も十分に可能であると考えられる。

6. 結果や今後の取り組み

今後の取り組みは、実際に投票型灰皿の設置を行うために病院や大学等の野外喫煙所や公園等の喫煙所への許可の取り付けを行う。投票結果をより多くの人に公表するために、利用者の特に多い Facebook や twitter、Instagram 等、独自の SNS アカウントの作成を行う。また、「Ballot Bin」購入の際にかかる資金は、前述の通りクラウドファンディングによって支援を募る。今後、このサービスを継続させるために、吸い殻の回収や質問内容の編集、情報の発信を委託することができる団体を駒澤大学のボランティアサークルを中心に調査する。継続性としては、「Ballot Bin」とそれを応用した仕組みを引き継ぐことができる適切な団体（駒澤大学のサークルや外部ボランティアなど）を調査する。また、「Ballot Bin」が更に必要になった際、円滑に購入を進められるよう価格等の詳細、購入ページの和訳をした購入手続きマニュアル等も作成する予定である。

7. 参考文献

・渋谷区役所（2017年）

https://www.city.shibuya.tokyo.jp/kankyo_keikaku/eco/bunen2.html

・TABI LABO（2015年）

<https://tabi-labo.com/amp/180482>

・消防庁（2017年）

<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-kouhouka/pdf/291025.pdf>

・Ballot Bin — Keep streets butt-free with the Ballot Bin

<https://ballotbin.co.uk>

・Ballot Bin - Neat Streets

<http://neatstreets.co/project/ballot-bin/>

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員（ビジネスパーソン・大学教員）の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経BPマーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会（プレゼン局）にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に

記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、ご提出ください